

顎の形態と咬み合わせを治す外科的矯正治療

新潟大学組織再建口腔外科学分野 教授

小林 正治

歯並びや咬み合わせの異常は、食物を咀嚼する能力や発音などの顎口腔機能を低下させます。さらに、顎の形態にも異常をきたした状態を顎変形症といますが、顎の変形は心理面にも影響を及ぼすとされています。そのような顎変形を有する患者さんを対象に行われる治療が、外科的矯正治療です。この治療は、矯正歯科医と口腔外科医もしくは形成外科医が連携して行うことで、健康保険が適用となります。この治療の目的は、正常な歯並びや咬み合わせを確立して顎口腔機能を回復させるとともに、顎の位置を正常にすることで顔の美的改善を図り、精神心理学的障害を排除して、社会適応性を向上させることにあります。本講演では、外科的矯正治療の流れとその効果について、一般市民の皆さんにもご理解いただけるように解説をいたします。

【略 歴】

- 1983年 新潟大学歯学部卒業
- 1987年 新潟大学大学院修了 歯学博士
- 1987年 新潟大学歯学部附属病院助手
- 2003年 新潟大学医歯学総合病院口腔外科講師
- 2014年 新潟大学大学院組織再建口腔外科学分野教授